

# まちの話題

Machi no Wadai

市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。  
また、みよし市ホームページでは「Topics(まちの話題)」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」  
でイベントや行事の様子を紹介しています。 <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>



## みよし産の切り干し大根を味わう

### 学校給食センター調理員・栄養士の学校訪問 (北部小学校)

食事の大切さや学校給食の役割についての理解を深めてもらおうと、毎年1月24日から30日までの全国学校給食週間に合わせて調理員と栄養士が小中学校を訪問し、児童生徒と交流しています。1月30日には北部小学校3年生の4クラスを訪問し、当日の献立に使われる切り干し大根がみよし市で作られていることや、学校給食を作るときに気を付けていることなどを説明しました。児童たちは「給食を作るときに大変なことは何ですか」、「給食センターでは何人が働いていますか」など、積極的に質問していました。その後、児童たちは調理員と栄養士と一緒に「煮みそ、いもち、白菜と切り干し大根のおひたし」をおいしく味わいながら食べていました。給食を食べ終えた男子児童の一人は「調理員さんから話を聞いて、いろんな苦労がある中で給食ができていることを知りました。これからも給食は残さず食べようと思います」と笑顔で話していました。





## 鬼は外! 福は内!

### 豆まき(みどり保育園)



市内の保育園と幼稚園では、子どもたちに日本の伝統的な行事を体験してもらおうと、毎年節分の日に合わせて「豆まき」が行われています。みどり保育園では2月2日、自分で作った鬼のお面と、鬼の絵を描いたバッグを身に付けた園児およそ100人が参加して行われました。みんなで「豆まき」の歌を元気いっぱいに歌い、「鬼のパンツ」の歌で楽しく手遊びをした後、保育士による「みんなの心に住んでいる鬼」を題材にした劇を鑑賞。その後、年長園児たちが「鬼は外! 福は内!」と大きな声をあげながら豆をまくと、鬼の役の園児たちは夢中で豆をバッグに拾い集めていました。男子園児の一人は「豆をまくのも拾うのも楽しかったよ。9個も拾えたんだよ」とうれしそうに見せてくれました。



## おいしいお茶とお菓子をどうぞ

### 市民茶会



市民の皆さんに日本の伝統文化であるお茶を気軽に楽しんでもらおうと2月4日、サンアートのふるさと会館で平成29年度第3回市民茶会が開催されました。この日は、皇風煎茶禮式こうふうせんぢやれいしきの中根和枝なかねかずえ(香和)社中が席主を務め、市内外からたくさんの方が訪れました。席主が「今日は立春にちなんで、ウグイスをイメージしたお菓子と伊勢茶をご用意しました。お菓子を食べる前と後で、お茶の味の違いを楽しんでください」とあいさつ。上座に座る正客が、席主にお茶の飲み方やお菓子について質問するなど、終始和やかな雰囲気茶会を参加者たちは楽しんでいる様子でした。会場に訪れた女性の一人は「いつもはお抹茶をいただきますが、煎茶もとてもおいしいですね」と満足そうに話していました。





危険物取扱者免状の乙種全6類を取得した三好丘中学校3年の川北将馬さん。一般財団法人消防試験研究センター愛知県支部長から、工業系の高校生でも難易度が高い資格を中学生が取得したということで表彰され、2月5日に市役所で表彰報告会が行われました。川北さんが「テキストを繰り返し読んで勉強しました。一緒に試験を受ける母に負けたくないという気持ちで勉強し、全類を取れたときは達成感がありました」と資格取得の喜びを話すと、小野田賢治市長が「今回の表彰は特別なものであると思います。今後も新たな目標に挑戦し、成長していきましょう」と受賞を祝福しました。川北さんは工業系の高校への進学を希望しており、電子関連や溶接などを学びたいそうです。

## 難易度の高い資格を見事取得

危険物取扱者免状乙種全類取得者  
表彰報告会



愛知県児童総合センターでは、お父さんが子どもと楽しめる遊びのプログラムを用意して愛知県内を巡っています。地域のお父さん同士の親睦を図り、育児参加を促す取り組みを行う「イクメンキュレーター」を養成しようと2月3日、子育て総合支援センターでイクメンキュレーター養成事業 もっと!「お父さん」を楽しもう!2017が行われました。カプラという小さな木の板を使った遊びのプログラムに、親子8組とイクメンキュレーター候補の市内の保育士などおよそ15人が参加。参加者たちはカプラを積んで一気に倒したり、チームに分かれて高く積み上げたりするなど、親子や父親同士で協力しながら楽しく遊びました。なお、遊びのプログラムの終了後、イクメンキュレーター候補者は養成セミナーを受講しました。

## お父さんたちの交流を広げる

イクメンキュレーター養成事業  
もっと!「お父さん」を楽しもう!2017





## 運転手とのアイコンタクトが大切

### みよし市シルバー交通安全教室



愛知県内の交通死亡事故による死者数は15年連続で全国ワースト1位ですが、昨年みよし市では6年ぶりに死者数が0人でした。これを継続し、交通事故から高齢者を守ろうと2月5日、中部トラック総合研修センターでシルバー交通安全教室が行われ、およそ60人が参加しました。初めに、豊田警察署交通課長の清水昌吾みずしやうごさんが「皆さんが歩いているときや自転車に乗っているときは、車を見るだけでなく、運転手の目を見てアイコンタクトをとることが大切です」と呼び掛けると、参加者たちは熱心にメモを取りながら話を聞いていました。続いて、交通安全に関する啓発動画と寸劇を見て、交通事故に遭わないために注意することを再確認していました。



## 自家製大豆でみそ作りに挑戦

### みそ作り体験会



6月に種をまいて育てた自家製大豆を使ったみそ作り体験会が2月8日、緑と花のセンター「さんさんの郷」で行われました。参加者たちは講師であるタッパーウェアマネージャーの林裕見子はやしゆみこさんからアドバイスをもらいながら、前日から水に浸していた大豆を圧力鍋でゆで、専用の機械を使ってつぶしました。続いて、塩とこうじを混ぜたものを大豆に加えて混ぜ合わせ、空気を抜きながら手の平サイズに丸め、持参した容器にカビが発生する隙間ができないように、勢いよくたたきつけながら入れました。参加した女性の一人は、「一から作る大変さを身をもって体験したので、これからは感謝の気持ちを持って食事をいただきたいです」と話していました。最後に、林さんが作ったみそを使った豚汁を食べながら、参加者たちは和気あいあいと、大豆栽培とみそ作りの楽しさや大変さを語り合っていました。